

## クロマツ探検隊Ⅱ

7月13日（火）酒田市光ヶ丘「万里の松原松陵地区」及び「酒田北港緑地展望台」でクロマツ探検隊Ⅱを実施しました。

7月に入り梅雨真っ盛りで雨が降る日が多い中、当日は園児達の願いが届いたのか、くもりで梅雨後半の季節としては爽やかな海風が心地よい天気恵まれました。クロマツ探検隊Ⅱには年長組園児32名、保育園先生4名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、庄内森林管理署1名、万里の松原に親しむ会2名、総勢43名でクロマツ探検隊Ⅱを行いました。

クロマツ探検隊Ⅱの出発式では、園児達が探検隊のルールについて学び、探検隊の隊長に保育園の先生が、隊長補佐に朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター及び庄内森林管理署職員、万里の松原に親しむ会員が任命され、園児の皆さんは隊員に任命されました。隊員の皆さんは隊長の号令を合図に「エイエイオー」の掛け声をかけ、保育園のバスに乗りクロマツ探検に向かいました。

万里の松原では、森林ボランティア団体「万里の松原に親しむ会」の三沢会長さんと木島事務局長さんが隊員の皆さんを温かく出迎えてくれました。三沢会長さんから万里の松原の歴史や保全活動について説明を受けた隊員の皆さんは、「ここは昔、砂丘だったこと」、「ここにあるクロマツは全て人の手で植えたもので、250年の年月が経っていること」などを聞いて驚いていました。三沢会長さんの案内で万里の松原の探検を行いました。会の方々がボランティアで整備した旧秋田街道では、歩道に敷いてある木質チップの上を歩き、ぷくぷくとした自然な感触に触れ、隊員の皆さんの賑やかな声がクロマツ林の中に響いていました。万里の松原の探検を終えた隊員の皆さんは、乾いたのどに飲み物を施し、汗で少し光る笑顔で記念撮影を行い、酒田北港緑地展望台の探検に向かいました。

酒田北港緑地展望台の7階から庄内海岸林を眺めた隊員の皆さんは、クロマツ林がいっぱいあることに感心していました。朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員より、「庄内海岸林のクロマツは、海から吹いてくる風や飛んでくる砂（飛砂）、水害などから酒田市民の生活を守ってくれていること」「市民の生活様式の変化により、クロマツ林に人の手が入らなくなり、その結果、マツクイムシが発生し、クロマツ林を脅かしていること」「国、県、市、などの行政機関も一生懸命にクロマツ林を守っているが十分とは言えないため、森林ボランティア団体等の皆さんの活動がなければクロマツ林を守ることが出来ないこと」を隊員の皆さんに伝えました。そんな話を聞いた隊員の皆さんから質問が出され、「赤ちゃんクロマツを大きく育てるにはどんなことをするのか」また、「クロマツはどのようにして、増えていくのか」など、鋭い質問が出され、ふれあいセンター職員も答えを伝えるのに冷や汗をかいていました。

益々、クロマツ林が隊員の皆さんの生活に必要であることを解ってもらえたことに期待を込め、クロマツ探検隊Ⅱを終了しました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター